

令和4年3月4日

発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会（令和3年度 第2回）

資料1

部会における議論について【報告】

維持管理部会

(令和3年12月23日開催)

維持管理部会 検討テーマについて

議論内容	当面、維持管理部会で議論する内容(案)	これまでの議論 (平成30年度～令和2年度)	議論を踏まえた対応	本日の議論
全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域の守り手」の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発注関係事務の運用指針の改正 ● 維持管理における週休2日の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用指針の改正 (R2.1) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理における週休2日の取組 ● 維持管理の担い手を確保するための取組の方向性 (維持管理のイメージアップ等)
維持	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争参加者が少ない維持工事における適切な積算方法 ● 毎年一定の工事量が発注される維持工事における適切な入札契約方式 ● 実態に即した適切な支払い方式 	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持工事における入札契約方式 ● 道路除雪工事における積算方法等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な入札契約方式(参加者確認型、地域維持型JV、事業協同組合、ECI方式等) ● 道路除雪工の労務歩掛の改正 (R2.2) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路除雪工における積算方法(少雪時における固定的な経費の計上)
修繕	<ul style="list-style-type: none"> ● 修繕工事に関する工種の新設などによる市場の整備 ● 長期的に品質や性能を保証する制度 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発注工種の新設(橋梁修繕工事) ● 修繕工事の品質確保 ● 長期性能保証制度 	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争参加資格に橋梁修繕工事を新規追加(R3・4年度より) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期性能保証制度の取組状況(報告)
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害対応におけるインセンティブ ● 災害時の入札契約方式 ● 災害対応に際して損害を補償する仕組み ● 異なる行政機関からの災害対応指示の一元化 ● 災害時の自治体支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時の対応 ● 迅速・円滑な災害対応に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害復旧における入札契約方式の適用ガイドライン(H29.7)の追加拡充に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害復旧における入札契約ガイドライン(報告)
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理におけるデータ活用 ● 維持管理手法の技術革新に対するインセンティブ付与の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期的な担い手確保と生産性向上(維持管理段階におけるデータ活用等) 	<ul style="list-style-type: none"> ● BIM/CIMの原則導入(R5年度) 	

維持管理部会(令和3年度) 主な論点

【議題1】維持管理における週休2日の取組

- ・維持管理における週休2日の取組において、現場閉所と交替制の選択をどうするべきかを議論

ご意見

- 天候など不確定要素に左右されるような工事があることを考えると、個人ベースで週休2日を取り入れ企業側の努力で色々と調整する余地を残すことも考えられる。
- 閉所を基本として考えないと現状は変わってこないが、土日を必ず休むようにするのは厳しいのではないか。
- 自治体が発注する工事でも週休2日を実施していくとすると、発注者の意識改革を徹底的に行う必要がある。
- 今後、主任技術者の専任など、建設業法上の規定との関係の整理も必要ではないか。

【議題2】道路除雪工における積算方法の改善

- ・道路除雪工において、少雪時においても固定的に発生する経費を計上可能な積算方法を検討。

ご意見

- 今回ご提案頂いた手法が妥当なのか、全国で検証していただきたい。
- 会計法上の制約はあるが、オペレーターの固定費を事前に想定して計上する方法も考えられるのではないか。
- 除雪機械を新規購入する余裕がない企業も多く、貸与を前提とした検討も必要。
- ICT建機を活用した除雪等によるDX化を進めることで、低コスト化や担い手の確保も進めてほしい。

【議題3】維持管理の担い手確保について(維持管理のイメージアップ)

- ・維持管理の担い手を確保するため、「仕事のやりがい」を改めて見つめなおし、適切なPR方法を議論

ご意見

- 地方企業は単独で見学会等を行うことは難しく、協会等が包括的に行う仕組みを構築するべきではないか。
- 維持管理の従事者にプライドを持ってもらうため、イメージ戦略や維持管理工事の労働環境の改善も必要。
- 発注者側と業界関係者が互いに協力しあいながら取り組むことが必要。

【報告】

- ・長期性能保証制度の取組状況について
- ・災害復旧における入札契約ガイドラインについて

建設生産・管理システム部会

(令和4年2月2日開催)

建設生産・管理システム部会 検討テーマについて

R1年度は、改正品確法に基づく運用指針改正(R2.1.30)に関連する事項を中心に議論。
 R2年度以降は、改正運用指針の取組推進に必要な事項を中心に議論。

項目	R1年度(①R1.10 ②R2.2)	R2年度第1回(R3.1)	R3年度第1回(R4.2)
働き方改革と担い手確保育成	【議論】適正な工期設定(①②)、週休2日の促進、工期変動と連動した積算(②)、直轄工事の円滑な施工確保に向けた取組(②) ★施工時期等の平準化、中長期的な発注見通しの公表(①)	(報告)週休2日の取組	【議論】総合評価落札方式における各種評価の試行の整理・検証
「地域の守り手」の育成・確保	【議論】直轄工事の円滑な施工確保に向けた取組(再掲・②)	【議論】生産性向上や担い手確保を踏まえた総合評価落札方式の運用改善 (報告)災害対応における入札・契約のあり方について(ガイドラインの改正)※	【議論】総合評価落札方式における各種評価の試行の整理・検証
生産性向上	【議論】技術提案・交渉方式のさらなる展開(ECIガイドライン改正案)(①)	【議論】生産性向上や担い手確保を踏まえた総合評価落札方式の運用改善(再掲) (報告)今後の建設生産・管理システムのあり方について※	(報告)3次元データの活用に向けたDXの取組(積算システムの今後) (報告)今後の建設生産・管理システムのあり方について
品質の信頼性向上	(報告)共通仕様書等の見直しも含めた積算システムの改善(②)	—	—
建設生産・管理システムの不断の改善	(報告)直轄工事における総合評価落札方式の実施状況(H30年度版)(②) ★総合評価落札方式の改善、海外実績を持つ技術者の活用(①、②)	【議論】生産性向上や担い手確保を踏まえた総合評価落札方式の運用改善(再掲) 【議論】海外実績を持つ技術者の活用※	【議論】総合評価落札方式における各種評価の試行の整理・検証 【議論】総合評価落札方式の改善 (報告)海外実績を持つ技術者の活用 (報告)直轄工事における総合評価落札方式の実施状況
全般	【議論】「運用指針改正案」に対する意見聴取(①)、直轄工事の円滑な施工確保に向けた取組(②)、運用指針改正を踏まえた取組(②)	(報告)直轄工事等の円滑な施工確保に向けた取組※	(報告)最近の直轄工事の調達における取組

※★の項目については、「運用指針改正を踏まえた取組」の中で紹介

※建設生産・管理システム部会、業務マネジメント部会共通議題

【議題1】総合評価落札方式における各種評価の試行の整理・検証

- ・これまで実施してきた多様な評価方法の試行結果(目的達成したか、品質が確保されているか等)の整理・検証
- ・検証結果を踏まえた今後の展開(評価方法の標準化や展開) 等

ご意見

- 成績評定は、整備局や工種、規模や難易度によって差が生じると考えられるため比較方法に留意すべき。
- 評価方法の標準化・展開にあたっては、成功した要因が何か、他の現場に適用できるかの分析が必要。

【議題2】総合評価落札方式の改善

- ・工事の総合評価に関する最近の実施状況等を踏まえ、課題等を議論

ご意見

- 論点は総合評価にコストがかかっているが効果があがっているかという点と認識。
- 技術提案の評価に差がつかない点は、点数の与え方に工夫の余地は無いか。また、テーマの出し方を変えるといった取組を行ったうえで差が出なければ、省力化して、機械的に評価できる手段を検討すべき。
- 今後の総合評価のあり方として、価格競争性の充実が重要。生産性を測る資料の確認等により価格競争性(時間競争性)を評価できれば、働き方改革や新3K等につながるのではないか。
- 今は総合評価が当たり前になっているが、見直しや評価方法の改善と更なる発展について議論していく必要。
- 現状の分析は十分ではないため、次年度以降はもう少し議論の場を設けるべき。

【報告】

- ・今後総合評価ガイドラインへ反映を検討している内容(手続日数確保、海外技術者の評価 等)について
- ・3次元データの活用に向けたDXの取組(積算システムの今後)
- ・海外実績を持つ技術者の活用(認定・表彰制度の実績の評価方法および認定状況等)
- ・今後の建設生産・管理システムのあり方(懇談会における議論の内容)について
- ・最近の直轄工事の調達における取組
(カーボン・ニュートラル対応モデル工事、賃上げ企業の評価、補正予算を活用した国債 等)について
- ・総合評価落札方式の実施状況

業務・マネジメント部会

(令和4年2月14日開催)

前回同様、運用指針に位置づけられた取組を推進するため必要な事項を中心に議論

項目	R2年度 第1回 (令和3年1月18日)	R3年度 第1回 (令和4年2月14日)
働き方改革と担 い手確保育成	(報告)直轄工事等の円滑な施工確保に向けた取組※ (報告)業務に関する運用指針調査の結果等	【議論】事業促進PPP業務の運用改善 【報告】業務に関する運用指針調査の結果等
「地域の守り手」 の育成・確保	【議論】受注インセンティブ向上や担い手確保を踏まえた入 札契約方式の運用改善について (報告)災害対応における入札・契約のあり方について (ガイドラインの改正)※	【議論】業務における多様な発注方式の活用について
生産性向上		【議論】電子成果品のデータマネジメント
品質の信頼性 向上	【議論】受注インセンティブ向上や担い手確保を踏まえた入 札契約方式の運用改善について	【報告】国土交通省認定技術者の評価方法の改善
建設生産・管理 システムの不断 の改善	【議論】受注インセンティブ向上や担い手確保を踏まえた入 札契約方式の運用改善について 【議論】海外実績を持つ技術者の活用※ (報告)直轄工事等の円滑な施工確保に向けた取組※ 【再掲】	【報告】電子成果品のデータマネジメント【再掲】 【報告】海外実績を持つ技術者の活用※
全 般	(報告)業務に関する運用指針調査の結果等【再掲】	【報告】業務に関する運用指針調査の結果等【再掲】 【報告】履行期限の平準化

※は、建設生産・管理システム部会、
業務マネジメント部会共通の議題

【議題1】業務における多様な発注方式について

- ・多様な入札契約方式の活用斜め象限図の見直しの方向性について
- ・地域の守り手確保のための地域精通を評価するプロポーザル方式の導入、フレームワークの取組について

ご意見 - 業務内容に応じた発注方式の選定の改善について、実際の運用に応じて見直すことはよい取り組み。
- プロポーザル方式の拡大はよい取り組み。

【議題2】事業促進PPP業務の運用改善

- ・技術者に求められる能力について
- ・BIM/CIMを活用した事業監理を業務内容に追加することについて

ご意見 - 事業促進PPPの導入効果の検証により活用促進、受注インセンティブの向上につながるのではないかと。
- 事業全体をマネジメントする能力は、発注者、設計者、施工者すべてに係わる問題であるため、引き続き関係者で協力しながら検討を進めていただきたい。
- BIM/CIM活用に関する業務を加えていくということは、BIM/CIMの促進に対して非常に有効な方法。

【議題3】電子成果品のデータマネジメント

- ・設計業務の内容や考え方を後工程における工事・業務受注者と共有するための電子成果品を活用した情報共有システムの開発について

ご意見 - 大事なものは事業全体でのデータ活用とその仕組み。
- データプラットフォームとどうつなげるのか。引き続きよく検討を進めていただきたい

【報告】

- ・技術者評価について組合せ加点を採用することで国土交通省登録資格の活用を促進
- ・海外実績を持つ技術者の活用
- ・業務に関する運用指針調査の結果等について

ご意見 - 低入札価格調査基準、最低制限価格制度について、導入に踏み切っていない自治体があり、受注者側として対応が難しい。